

スピノエース™ 顆粒水和剤

園芸用殺虫剤

微生物がつくる、天然物由来の殺虫剤

- 多彩な作物の多くの害虫に適用
- アザミウマ類、チョウ目害虫に優れた効果
- 有機農産物に使える

栽培形態と使える農薬

※1 慣行栽培と比較して削減対象農薬の使用回数が50%以下

	有機JAS規格別表2の農薬 マシン油剤、銅水和剤、生石灰、性フェロモン剤、天敵など生物農薬、 スピノサド水和剤、他（一部化学合成農薬を含む）
慣行栽培	○ 使用可
特別栽培※1	○ 使用回数にカウントされない
有機栽培	○ 農作物の被害が予想される場合に使用可

だいこん、
はつかだいこんの
「キスジノミハムシ」に
適用拡大!



知らず知らずに進む、
害虫の被害。

スピノエース™顆粒水和剤の適用害虫と使用方法

使用方法:散布

散布流量:10アールあたり100~300ℓ(いちじく、マンゴー、ラズベリー、樹木類は200~700ℓ)

*収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびスピノサドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*		
キャベツ	コナガ、ヨトウムシ アオムシ、タマナギンウワバ	2,500~5,000	3日	本剤 3回※1		
	ハイマダラノメイガ、アザミウマ類	5,000				
はくさい	コナガ、アオムシ、 ハイマダラノメイガ	2,500~5,000				
	ヨトウムシ、カブラハバチ	5,000				
ブロッコリー	コナガ、アオムシ	2,500~5,000				
だいこん	コナガ、アオムシ、 キスジノミハムシ	5,000				
はつかけだいこん	ハモグリバエ類	2,500				
セルリー	ハモグリバエ類	5,000			3日	3回
にんじん					前日	2回
かぶ					3日	3回
実えんどう					前日	2回
食用へちま					3日	3回
カリフラワー					3日	2回
クレソン					※2	2回
みつば			7日	3回		
メキャベツ			7日	3回		
ふだんそう			3日	2回		
非結球メキャベツ	ヨトウムシ	5,000	14日	3回		
パセリ		2,500	2回	1回		
みずな	アオムシ、コナガ、 ヨトウムシ類、 ハイマダラノメイガ、 アザミウマ類、 ハモグリバエ類	5,000	3日	1回		
非結球はくさい#	2,500~5,000	14日	2回			
非結球あぶらな科 葉菜類# (みずな、非結球はくさいを除く)						
レタス	オオタバコガ ヨトウムシ	5,000	3日	本剤 3回※3		
	ハモグリバエ類	灌注500~1,000 (使用流量:セル成型 育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土 壌約3ℓ)当り500ml)	定植前まで	本剤 1回※3		
非結球レタス#	オオタバコガ ヨトウムシ	2,500~5,000 5,000	7日	本剤 2回※4		
	アザミウマ類	2,500~5,000	3日	3回		
ねぎ、わけぎ、 あさつき	シロイチモジヨトウ	5,000	3日	3回		
ほうれんそう	アザミウマ類、シロオビノメイガ、 アシクロハモグリバエ	5,000				
トマト、ミニトマト	アザミウマ類、オオタバコガ、 ハモグリバエ類	2,500~5,000	前日	2回		
なす	アザミウマ類 オオタバコガ	5,000				
ピーマン	アザミウマ類 オオタバコガ	2,500~5,000				
すいか	アザミウマ類	5,000				
メロン	ハモグリバエ類、 アザミウマ類、ウリノメイガ	10,000	7日	3回		
きゅうり(葉)		14日				
きゅうり(花)		5,000~10,000				
ズッキーニ ズッキーニ(花)		20,000				
ししとう 甘長とうがらし	アザミウマ類	5,000	前日	2回		
アスパラガス いちご エンサイ すいせんじな せり とうがん 未成熟さげ 未成熟ふじまめ						

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*	
さやえんどう さやいんげん	ハモグリバエ類	5,000	前日	3回	
	いちじく			1回	
マンゴー	アザミウマ類		3日	2回	
みょうが(花穂)	前日※5				
みょうが(莖葉)	※6				
よもぎ	2,500		3日	1回	
ラズベリー			2回		
モロヘイヤ			3日		
つるな らっきょう	5,000		前日	3回	
にんにく					
にら にら(花莖)	アザミウマ類		10,000	前日	3回
しよくようほおずき 食用ミニバラ					
しそ科葉菜類# しそ(花穂) 食用花# (かんそう(花)、 食用ぎく、 食用ミニバラを除く)	ミカンキイロアザミウマ		5,000	3日	2回
食用ぎく					
食用ぎく(葉)	アザミウマ類	5,000	発生初期	2回	
きく	ハモグリバエ類、 アザミウマ類、 オオタバコガ				
グアバ(葉)	バンジロウツノエグリヒメハマキ	2,500~5,000	14日	3回	
さんしょう(葉)	アゲハ	10,000	3日		
花き類・観葉植物 (きくを除く)#	アザミウマ類	5,000	発生初期	2回	
樹木類#	ケムシ類				

- ※1.キャベツ はくさい ブロッコリー 本剤の使用回数:3回以内 スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)
- ※2.みつば 収穫7日前まで、但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで
- ※3.レタス 本剤の使用回数:散布での使用法は3回以内、灌注での使用法は1回 スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)
- ※4.非結球レタス 本剤の使用回数:散布での使用法は2回以内、灌注での使用法は1回 スピノサドの総使用回数:3回以内(定植前は1回以内、本圃では2回以内)
- ※5.みょうが(花穂) 収穫前日まで、但し花穂発生期はマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用
- ※6.みょうが(莖葉) みょうが(花穂)の収穫前日まで、但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで #印の登録には複数の作物名が含まれます。作物分類および作物名に含まれる別名の例等の詳細は(独)農林水産消費安全技術センターウェブサイト「農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」をご覧ください。


ミツバチに対する影響 ミツバチは2日後(5,000倍)から7日後(2,500倍)、マルハナバチは3日後(5,000倍)から8日後(2,500倍)に導入できます。

ローテーション防除推奨 同じ薬剤および同系統の薬剤の過剰な連続使用は避け、異なる作用機種の薬剤とローテーション(輪番)で使用することを推奨します。

- 効果・薬害等の注意(抜粋)**
- 適用作物群に属する作物、またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 安全使用上の注意(抜粋)**
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。
 - ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ・受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園では、使用をさけてください。
 - ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場等に放置せず、適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

製造販売
ダウ・アグロサイエンス日本株式会社
 〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号
 山王パークタワー
<https://www.corteva.jp/>



取扱
 本資料は2020年10月現在の知見に基づき、作成されています。

SPK 20.10.10 ST®